

東北関東大震災

への対応について

3月11日に発生した東北関東大震災は、国内観測史上最大の巨大地震であり、予測のつかない被害状況が広がっています。被害が甚大な宮城、岩手、福島など東北6県及び、全国の犠牲者のみなさまに心から哀悼の意を表します。また避難所で過ごしておられる被災者のみなさまに心からお見舞いを申し上げます。

昨年合研集会を開催した岩手をはじめ、宮城、福島などの保育団体関係者との連絡も充分取れていません（宮城県保育関係団体連絡会の事務局がある朝市センター保育園の状況は新聞記事で確認でき、安堵しました）。

地震発生時は保育時間中であり、保育園や子どもたちの被災状況も明らかになっていません。被災地ではライフラインが少しずつ復旧している地域もあるようですが、現在43万人超が避難生活をしており、依然厳しい状況が続いています。

全保連としても政府が人命救助に全力をあげ、また必要な情報提供をすすめるよう要請すると同時に、被災地の子どもたちが疎開先の保育園へ入所を希望することが予測されることから、阪神淡路大震災時の教訓に基づき、各地域で緊急に対応することを要請します。各地域でも自治体への要請をお願いします。

また、被災地の各県団体からの要請に応える準備をしつつ、加盟団体及び、関係者のみなさんに、当面、被災地支援のための震災救援募金を訴えます。

募金は全保連加盟各県団体へ送り、各団体の判断で活用していただきます。

震災救援募金の送付先

郵便振替 00110-8-117536 全国保育団体連絡会

(通信欄に震災救援募金と明記してください)

水・電気



小学校の先生が、被災地の子供たちを慰める。写真：朝市センター(保育園)の職員が、被災地の子供たちを慰める。写真：朝市センター(保育園)の職員が、被災地の子供たちを慰める。